Strategy IR活動 Identity Strategy Business Management Data Section

# IR活動

## 基本方針

住友化学は、株主・投資家との間で、経営方針、事業戦略および業績動向に関する計画的、効果的かつ戦略的なコミュニケーションを行うことで株主への説明責任を果たし、市場からの信頼の維持・向上を図るとともに、当社への正しい理解を通じて、適正な株価形成と企業価値向上に努めます。

### 2023年度の活動概要

2023年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できていなかった海外機関投資家への訪問や、投資家工場見学を再開し、株主・投資家の皆様との建設的な対話を実施することができました。また、急速な事業環境の変化に対応し、決算発表と同時にマネジメントによる説明会を実施することで、業績に関する説明を充実させるとともに、当社が描いているビジョンや認識している課題等の共有に努めました。

### IRカレンダー (2023年度)

年間を通して、説明会を実施しているほか、刊行物の発行も行っています。

決算発表	■ 5月 <b>2022年度</b> 決算		■8月 2023年度 第1四半期決算	■11月 2023年 第2四	F度 半期決算	■ 2月 2023年度 第3四半期決算
4.	月 5月	6月 7月	8月 9月	10月 11月	12月 1月 2	2月 3月
ラージ 説明会	5月 2022年度 経営戦略割				F度上期決算および 民略説明会	3月 DX戦略説明会
スモール ミーテイング		■6月 社長による スモールミーティング			12月 情報電子化学 スモールミーティング 12月 債券スモールミーティング (証券会社主催)	■ 3月 健康・農業 スモールミーティン (証券会社主催)
刊行物	5月 インベスタ ハンドプッ:					
海外IR		6月   北米ロードショー   6月   欧州ロードショー	カンフ	ァレンス カンフ	ポール アレンス 会社主催)	

### **■ 主なイベントの開催実績** 2023年4月~2024年3月の実施状況

#### 1 日本

<b>武</b> 州五	登壇者	回数	参加者数· Live視聴数
2022年度決算および 経営戦略説明会	社長	1	592
上期決算および 経営戦略説明会	社長	1	357
DX戦略説明会	副社長ほか	1	96
電話カンファレンス での決算説明会	社長、IR担当役員	2	683

個人投資家説明会	対応者	回数	参加者数
個人投資家説明会 (動画配信)	IR担当部長	2	-

#### 投資家との面談

投員家との画談		対応者	投資家の属性	参加者数	
扮	と 資家との面談	社長、IR担当役員、 IR担当部長ほか	ファンドマネージャー、 アナリストほか	449	
j	ちSR、ESG面談	社長、IR担当役員、 IR担当部長ほか	ESG担当、議決権行 使担当ほか	57	

#### スモールミーティング

	対応者	回数	参加者数
社長による スモールミーティング	社長、事業部門長	1	20
事業部門等による スモールミーティング	事業部門長、事業部門 担当役員ほか	3	45

### 対話の主なテーマ

#### 短期集中業績改善策の進捗

- ●事業再構築
- ●政策保有株式の売却

### 抜本的構造改革の概要

●住友ファーマの立て直し ●ペトロ・ラービグ含む石化事業の立て直し

## 気候変動問題への取り組み

●GHG排出削減に向けた 取り組み状況

### 【社内へのフィードバックと改善例

当社は、IR活動の中で得られたアナリスト・投資家のご意見やご指摘を社内各層にフィードバックし、当社の経営戦略・事業計画や企業価値等について外部視点での評価を共有することで、競争力強化・経営の改善につなげています。

フィードバック

### 取締役会報告

決算説明会や投資家面談等で得られたご意見、株価等の当社に対する評価等について、取締役会等で共有しています。

IR広報連絡会

四半期に一度、各事業部門、本社部門の部長クラスに対し、決算発表や説明会に対する投資家の反応や意見等を共有するほか、投資家・メディア向けイベントの企画内容等について意見交換しています。

内容

### 投資家のご意見を経営に反映した具体例



投資家

### 〈投資家ご意見〉

カーボンニュートラルに向けた「責務」にあたる自社のGHG排出削減量は定量化されているが、「貢献」にあたる自社製品による世界のGHG排出削減量は定量化されていない。定量的に示すことにより化学産業のレピュテーションの向上を図ってほしい。

### 〈当社対応〉

当社製品・技術によるGHG削減量を 科学的手法に基づいて定量的に表す Science Based Contributions(SBC) を策定し、社会価値創出を可視化

→ 気候変動の緩和と適応

### ┃ 情報開示体系とエンゲージメントツール

当社では、株主・投資家を含めたステークホルダーとのエンゲージメントを推進するべく、『住友化学レポート』、『インベスターズハンドブック』、『サステナビリティレポート』の3つのレポートを発行しているほか、ホームページ、SNS等で適宜情報を発信しております。当社への正しい理解を深めていただくことにより、企業価値向上を目指していきます。

<sup>→ 「</sup>住友化学レポート2024」発行にあたって